

第8期は実践の年
連合群馬事務局の挑戦!
 第8期新年にあたっての意気込みを
 ひとこと言うならば!



清村宗一
事務局長

阿部和彦
副事務局長

富澤 誠
副事務局長

小山利明
副事務局長



吉田香苗 (職員)

萩原いずみ (職員)

坂上恵理子 (職員)



新井 智
(就職支援機構)

長谷川浩之
(労福協)

とっておきの **散歩道**
 No.6

「赤いりんごに唇よせて〜♪」(ふ・古い!) なんてうたがありましたね。りんごと言えば、つい赤をイメージしますが、中には王林など黄色いものもあるんです。りんごは10月初旬から店頭に並び、最盛期は11~12月。そして品種によっては3月初旬まで味わえますよ。

〜さて今回は、ふれあいフェスティバル抽選会賞品
「りんごの木」 その後は?の話〜



桑原吾妻地協議長

今年6月に実施した第3回ふれあいフェスティバル。その抽選会賞品の1つである「りんごの木」。このりんごは、連合群馬吾妻地協の桑原議長が丹精こめて作り上げたもの。「議長は、お忙しい合間を縫って、りんごの木の剪定や消毒、収穫を一人でこなし、収穫の時期

には近くの保育園の子どもたちや組合員に無料でりんご園を開放してくれるんです。おまけに長野までりんごの勉強にも出掛け、たいへん研究熱心な方なんです!」とは、吾妻地協職員・篠原さんのコメント。

その桑原議長の愛情たっぷりな「りんごの木」をみごと当選された川田さんのりんご狩りは、11月23日(日)10時より、吾妻・桑原りんご園で、実施されました。この日は晴天にも恵まれ、当選者の川田さん御一行(前橋市在住・6名で参加)は、およそ1時間かけてりんご(ふじ)を収穫し、その数はなんと!全部で100個にもものぼりました。収穫したたくさんのりんごを目の前に、川田さんにはたいへん喜んでいただけました。



100個収穫!!!川田さん御一行

このりんご「ふじ」には、「蜜がたくさん入っていて、と〜っても甘くておいしかった!」参加した子どもたちも、りんご狩りを満喫し、笑顔が絶えない楽しい1日でした。(イ姉)

編集後記

初詣のときには決まっておみくじを引きますが、さて、今年はどうかな?みなさんも、おみくじを引いて気になるのは、金運や恋愛運ではないでしょうか?恋愛運で「待ち人来たり」とか出ると、ついうれしくなったり…。

そういえば、秋に行った親交会旅行の浅草寺で「大凶」が出た某T副事務局長は、どうだったかな?後で聞いてみようっと。イ姉

せいせいのハルハル
 時の移ろいは早いもので、連合に再派遣となつてから早3年目の新年を迎えることとなった。
 昨年は「一年の計は元日にあり」と書いたが、今年も入稿を依頼され改めて考えて見たが、新年早々に「小言」を書く(書く)のも果たしてどうなのかなぁ……。
 このコラムも3年前から書いている訳で書くのは当たり前と言えは当たり前であるがTPOに応じた柔軟な発想をすべきたと考えると正月ならばもう少しおめでたい内容であっても良いとなる。
 当たり前前様であっても、見方を変えれば当たり前ではないし、今まで同様の考えが、必ずしも良くはないと言つことである。
 改革・実践の真価が問われるのはこれからの8ヶ月間であるが、これまでの課題を検証・点検し、時代に即応した取り組みを展開したい。

※環境保護のために古紙100%再生紙を使用しています

